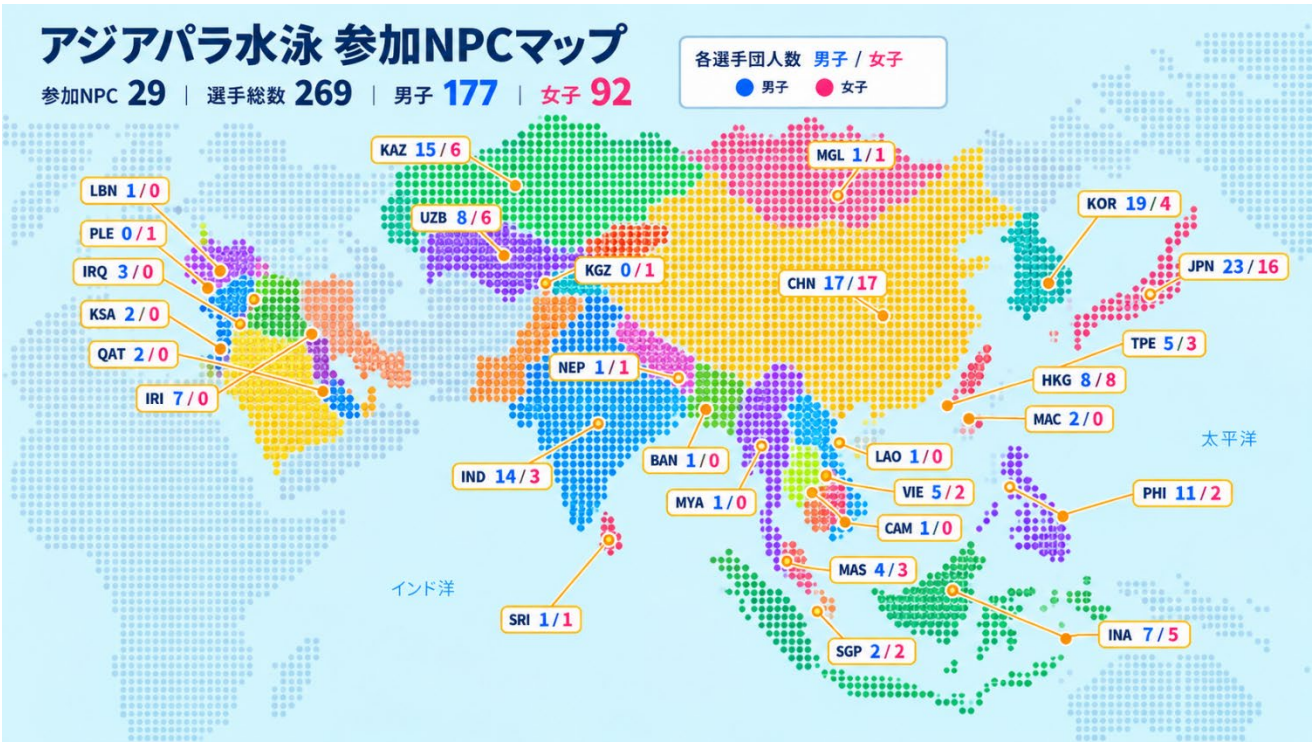
アジアパラ競泳の見どころ

日本は2025年、2026年世界パラ水泳ワールドシリーズを開催、アジアパラ水泳への貢献を果たしてきた。その集大成として愛知・名古屋で競泳が繰り広げられる。

パリ2024パラリンピックでのメダリストを多数派遣してきた中国、近年成長の著しいウズベキスタン、世界選手権を開催したシンガポール、知的選手強豪の香港、韓国などメダル争いの行方は・・・・

LA2028パラリンピックのMQS突破大会にも位置付けられるこの大会、皆様の日本選手への声援が力になります。



マップはチームリーダーズガイドより　日本パラ水泳連盟作成

目が離せない、5日間。

今日の注目レース

DAY 1　10月19日（月）

金メダルへの挑戦、名古屋で幕開け

01　男子50m自由形 S4

鈴木孝幸

5大会連続の金メダルという大きな目標に挑む鈴木孝幸。
経験豊かなベテランが初日の大舞台でどんな泳ぎを見せ、
日本チームに勢いをもたらすか。

アジアパラ出場回数：5回目
アジアパラ獲得メダル数：金 9・銀 2・銅 2

02　女子100m自由形 S13（DF）

辻内彩野

S11～S13の選手が競うコンバイン種目。
S12の辻内彩野が、ウズベキスタンのS13選手らを
相手に金メダルへ挑戦。

アジアパラ出場回数： 2 回目
アジアパラ獲得メダル数： 銅 3

2*	Women's 400m Freestyle S8	水上真衣
3	Men's 400m Freestyle S8	荻原虎太郎
5*	Men's 200m Individual Medley SM6	山田龍芽
7	Men's 50m Freestyle S5	田中映伍
8	Men's 50m Freestyle S4	鈴木孝幸
10*	Women's 100m Freestyle S13	笠本明里／辻内彩野／石浦智美
12*	Men's 100m Freestyle S12	齋藤元希

15	Women's 200m Freestyle S14	木下あいら／佐藤璃來
17	Women's 200m Individual Medley SM9	福田果音／都甲万結／前田恵麻
18	Men's 200m Individual Medley SM9	川渕大耀／岡島貫太
19*	Women's 100m Butterfly S8	水上真衣
20	Men's 100m Butterfly S8	荻原虎太郎／坪井弘恭
21*	Women's 100m Freestyle S10	川辺多恵／松永琴寧

DAY 2　10月20日（火）

アジア記録保持者がさらなる高みへ

01　男子200m個人メドレー SM10（DF）

南井瑛翔／久保大樹

2分16秒98のアジア記録を持つ南井瑛翔。自らの記録を超える泳ぎで頂点に立てるか。久保大樹とともに、日本勢の躍進に期待が集まる。

アジアパラ出場回数：南井 2回目・久保 3 回目
アジアパラ獲得メダル数：南井 金 2・銀 1・銅 1
久保 金 1・銀 2・銅 2

南井瑛翔

久保大樹

02　男子100m背泳ぎ S12（DF）

齋藤元希

S13からS12へクラスが変わった齋藤元希。1分03秒46のアジア記録を持つ実力者が、記録更新と金メダル獲得の両方を狙う。

アジアパラ出場回数：3回目
アジアパラ獲得メダル数：銀 2・銅 4

25*	Men's 400m Freestyle S11	富田宇宙
26*	Women's 200m Individual Medley SM10	松永琴寧
27*	Men's 200m Individual Medley SM10	久保大樹／南井瑛翔／井戸夢翔
28	Women's 100m Backstroke S14	芹澤美希香／佐藤璃來
29	Men's 100m Backstroke S14	籠瀬　嶺／牧山和樹／山口尚秀
30*	Men's 100m Backstroke S12	齋藤元希
31	Women's 50m Freestyle S9	福田果音／宇津木美都／都甲万結
32	Men's 50m Freestyle S9	岡島貫太
35	Men's 50m Butterfly S5	田中映伍
36*	Women's 100m Breaststroke SB13	笠本明里／辻内彩野

37	Men's 100m Breaststroke SB13	齋藤元希
38*	Men's 200m Individual Medley SM8	荻原虎太郎／坪井弘恭
40*	Men's 50m Breaststroke SB3	鈴木孝幸
41*	Women's 100m Backstroke S10	松永琴寧
42*	Men's 100m Backstroke S10	南井瑛翔／井戸夢翔／上園温太
43	Women's 100m Freestyle S7	西田杏
46	Men's 100m Freestyle S6	山田 龍芽

DAY 3　10月21日（水）

金メダル候補が続々登場する注目の一日、パリ金メダリスト中国選手との競い合い

01　男子400m自由形 S9

川渕大耀

成長著しい若手、川渕大耀。自身のアジア記録4分16秒76の更新を視野に、中国や韓国選手との争いに挑む。
長い距離を通じた駆け引きにも注目。

アジアパラ出場回数：２回目

02　男子200m自由形 S5

田中映伍

独自の泳ぎで200mを泳ぎ切る田中映伍。
パリメダリストの中国選手と競り合い、メダルをつかめるか。
レース後半まで目が離せない。

アジアパラ出場回数：2回目

03　女子50mバタフライ S7（DF）

西田杏

アジアで強さを示してきた西田杏。得意の50mバタフライで、中国選手を相手に2大会連続の金メダルに挑む。短距離ならではの一瞬の勝負に注目。
アジアパラ出場回数：３回目
アジアパラ獲得メダル数：金１

04　男子100m平泳ぎ SB11

木村敬一

杭州大会では中国のYANG Bozun選手に敗れ、銀メダルに終わった木村敬一。同世代のライバルとの再戦で、今度こそアジアの頂点へ。

アジアパラ出場回数：５回目
アジアパラ獲得メダル数：金11・銀７・銅１

05　混合4×100mメドレーリレー 34ポイント（DF）

荻原虎太郎／福田果音／岡島貫太／前田恵麻

前回のアジアパラ（杭州大会）で初めて実施された34ポイント制の混合メドレーリレー。チームの総合力が問われる新たな戦いに、地元出身の岡島貫太ら日本勢が挑む。

荻原虎太郎

福田果音

岡島貫太

前田恵麻

47	Women's 100m Freestyle S8	水上真衣
48	Men's 100m Freestyle S8	荻原虎太郎／坪井弘恭
49*	Women's 400m Freestyle S9	都甲万結／前田恵麻／今村菜月
50	Men's 400m Freestyle S9	川渕大耀
51*	Women's 100m Butterfly S10	川辺多恵／松永琴寧
52*	Men's 100m Butterfly S10	久保大樹／南井瑛翔
53	Men's 200m Freestyle S5	田中映伍
54*	Women's 50m Butterfly S7	西田杏
56	Women's 50m Freestyle S8	水上真衣
57	Men's 50m Freestyle S8	窪田幸太／坪井弘恭
58	Men's 100m Breaststroke SB11	木村敬一
59	Women's 100m Breaststroke SB14	木下あいら／芹澤美希香
60	Men's 100m Breaststroke SB14	山口尚秀／佐藤悠人／直井駿弥
61*	Women's 100m Backstroke S13	笠本明里／辻内彩野／石浦智美
64*	Men's 100m Breaststroke SB5	山田龍芽
66*	Men's 200m Individual Medley SM11	富田宇宙
67*	Mixed 4x100m Medley 34pts	荻原虎太郎・福田果音・岡島貫太・前田 恵麻

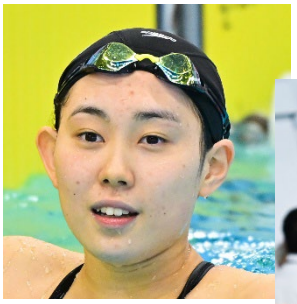
DAY 4　10月22日（木）

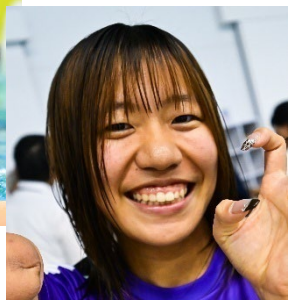
記録と意地がぶつかる、熱戦の予感

01　女子100m平泳ぎ SB8（DF）

福田果音／宇津木美都

1分24秒18のアジア記録を持つ福田果音、経験豊富な宇津木美都、そして中国の強豪選手。三つ巴の争いから誰が抜け出すのか。
アジアパラ出場回数：福田2回目、宇津木3回目
アジアパラ獲得メダル数：福田 金1・銅２
宇津木 金１・銀２・銅１


福田果音


宇津木美都

窪田幸太

荻原虎太郎

02　男子100m背泳ぎ S8（DF）

窪田幸太／荻原虎太郎

日本勢同士で切磋琢磨してきた窪田幸太と荻原虎太郎。自己ベストを伸ばす荻原の勢いと、窪田の実力がぶつかる注目の一戦。中国選手も含め、窪田の持つ大会記録を誰が更新するか。
アジアパラ出場回数：窪田・荻原とも3回目
アジアパラ獲得メダル数：窪田-金1・銀1・銅１
荻原-銅３

03　女子50m自由形 S10（DF）

川辺多恵

各国のエースが顔をそろえる50m自由形。杭州大会で銅メダルを獲得した川辺多恵が、さらに上の表彰台を目指してスプリント勝負に臨む。
アジアパラ出場回数：2回目
アジアパラ獲得メダル数：銅 2

68*	Men's 400m Freestyle S10	久保大樹／南井瑛翔／上園温太
69*	Women's 100m Breaststroke SB8	福田果音／宇津木美都
72*	Men's 200m Individual Medley SM5	田中映伍
74	Women's 100m Butterfly S14	木下あいら／佐藤璃來
75	Men's 100m Butterfly S14	村上舜也／松田天空
76	Women's 100m Breaststroke SB9	都甲万結／前田恵麻／今村菜月
77	Men's 100m Breaststroke SB9	上園温太
79*	Men's 100m Backstroke S8	荻原虎太郎／窪田幸太
80*	Women's 50m Freestyle S13	笠本明里／辻内彩野／石浦智美

82	Men's 50m Freestyle S11	木村敬一
83*	Women's 50m Freestyle S10	川辺多恵
84*	Men's 50m Freestyle S10	井戸夢翔
86	Men's 100m Backstroke S6	山田龍芽
88*	Womens's 100m Butterfly S9	前田恵麻／今村菜月
89	Men's 100m Butterfly S9	川渕大耀／岡島貫太
91*	Mixed 4x100m Freestyle S14	山口尚秀・直井駿弥・木下あいら・佐藤璃來

DAY 5　10月23日（金）

最終日、次世代の力と日本の総合力に期待

01　男子400m自由形 S6　山田龍芽／女子100m背泳ぎ S9　都甲万結

最終日は若手の挑戦にも注目。最年少選手山田龍芽、都甲万結らがメダル争いに加われるか。都甲が、経験豊富な宇津木、前田に競り勝つか‥
アジアパラ出場回数：山田・都甲ともに初出場

山田龍芽

都甲万結

02　男子100mバタフライ S12・S11／男子100m自由形 S4

齋藤元希

木村敬一

鈴木孝幸

齋藤元希／木村敬一／鈴木孝幸

大会終盤を彩る日本の実力者たち。齋藤元希は3種目での金メダル獲得なるか。木村敬一、鈴木孝幸も最終日の個人種目で力を尽くす。

03　混合4×100m自由形リレー 34ポイント（DF）

荻原虎太郎／坪井弘恭／福田果音／前田恵麻

アジアパラ初実施となる34ポイント制の混合自由形リレー。各国が力を結集する最終決戦で、日本チームはどんなバトンをつなぐのか。

荻原虎太郎　坪井弘恭　福田果音　前田恵麻

92	Womens's 100m Freestyle S9	福田果音／都甲万結／前田恵麻
93	Men's 100 m Freestyle S9	川渕大耀／岡島貫太
95	Men's 400 m Freestyle S6	山田龍芽
97	Men's 50m Backstroke S5	田中映伍
98*	Women's 200m Individual Medley SM13	笠本明里／辻内彩野
99	Men's 200m Individual Medley SM13	齋藤元希
100	Women's 100m Backstroke S9	宇津木美都／都甲万結／前田恵麻
101	Men's 100m Backstroke S9	川渕大耀／岡島貫太

102*	Men's 100m Freestyle S11	富田宇宙
106	Women's 200m Individual Medley SM14	木下あいら／佐藤璃來
107	Men's 200m Individual Medley SM14	山口尚秀／村上舜也／坪井夢輝
109*	Mens's 100m Butterfly S12	齋藤元希
110*	Men's 100m Butterfly S11	木村敬一
113*	Men's 100m Freestyle S4	鈴木孝幸
114*	Mixed 4x100m Freestyle 34pts	荻原 虎太郎・坪井 弘恭・福田 果音・前田 恵麻

選手の記録などはパラ水泳連盟の日本代表のページに日々掲載、更新していきますので、ご覧下さい。